

平成26年2月28日

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について

消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表します。

1. ガス機器・石油機器に関する事故 6件
(うちガスこんろ(LPGガス用)1件、ガスこんろ(ガス種不明)1件、
石油温風暖房機1件、石油給湯機2件、石油ストーブ(開放式)1件)
2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因が疑われる事故 6件
(うちパワーコンディショナ(太陽光発電システム用)1件、
電気掃除機1件、マグカップ1件、エアコン(室外機)1件、延長コード1件、
自転車1件)
3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因か否かが特定できていない事故 5件
(うち電気ストーブ(ハロゲンヒーター)1件、エアコン(室外機)1件、
リチウム電池内蔵充電器(スマートフォン用)1件、電気ストーブ2件)
4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故調査判定合同会議(※)
において、審議を予定している案件
該当案件無し

1. ~ 4. の詳細は別紙のとおりです。

※正式名称は「消費者安全調査委員会製品事故情報専門調査会及び消費経済審議会
製品安全部会製品事故判定第三者委員会合同会議」という。

5. 留意事項

これらは消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づく報告内容の概要であり、現時点において、調査等により事実関係が確認されたものではなく、事故原因等に関し、消費者庁として評価を行ったものではありません。

本公表内容については、速報段階のものであり、今後の追加情報、事故調査の進展等により、変更又は削除される可能性があります。

6. 特記事項

(1) 凸版印刷株式会社が輸入し、株式会社ローソンが景品として配付したマグカップについて（管理番号A201300822）

① 事故事象について

凸版印刷株式会社が輸入し、株式会社ローソンが景品として配付したマグカップにお湯を入れたところ、当該製品の底部が抜け、右足に火傷を負いました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、熱湯を注ぐ等の原因で当該製品が劣化し、破損したものと考えられます。

② 再発防止策について

同社は、当該景品を含む対象製品（下記③）について、事故の再発防止を図るため、2013年（平成25年）12月2日からウェブサイトへの情報掲載や全国のローソン店舗での告知を行うとともに、同年12月3日に新聞社告を掲載することにより、破損のおそれがある旨の注意喚起及び代替品への交換を呼び掛けています。

③ 対象製品：景品名、対象店舗、景品交換期間、対象数

景品名	対象店舗	景品交換期間	対象数
リラックマティー マグ	全国の「ローソン」 店舗 10,288店/2013年10 月末現在 「ローソンストア 100」は除く。	2013年9月3日 ～ 2013年11月25日	約173万個

注：対象製品はローソンの秋のリラックマフェア（開催期間：2013年9月3日～11月18日）で景品として配付されていたもの

2013年（平成25年）12月2日からリコール実施
回収率 16.3%（2014年2月21日現在）

対象製品の外観



④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちの方は、代替品への交換案内を行っていますので、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

【問合せ先】

リラックマティーマグ交換事務局

電話番号：0120-482-261

受付時間：9時～20時

ウェブサイト：株式会社ローソン

http://www.lawson.co.jp/emergency/detail/detail_84331.html

凸版印刷株式会社

<http://www.toppan.co.jp/library/japanese/topics/files/toppan20131202.pdf>

<http://www.toppan.co.jp/library/japanese/topics/files/toppan20131210.pdf>

(2) ダイキン工業株式会社が製造したエアコン（室外機）について

（管理番号A201300823）

①事象について

ダイキン工業株式会社が製造したエアコン（室外機）を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生しました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、当該製品を含む対象機種の一部においてコンデンサの端子部分が組立時に外力を受けたため、長期の運転時の振動により緩み、接触不良を起こして出火に至ったものと考えられます。

②再発防止策について

同社は、当該製品を含む対象機種の一部（下記③のうち「※」が付いている機種）について、事故の再発防止を図るため、2009年（平成21年）2月3日にプレスリリース及びウェブサイトへの情報掲載、翌2月4日に新聞社告を掲載するとともに、販売ルートへのダイレクトメールの発送、販売店リストによる電話連絡により注意喚起を行い、対象製品について無償点検・部品交換（コンデンサ部の交換）を実施しています。

なお、当該製品を含む対象機種（下記③）の全てについて、制御基板に小動物やほこり・水分などの異物が侵入・付着したことによりトラッキングが発生し、発煙・出火に至る事故が発生していることから、上記対策に併せて、無償点検・改修（制御基板表面のコーティング等により、基板の絶縁処理を行う）を実施しています。

③対象製品：機種・型式、改修対象台数、対象製造期間

機種・型式	改修対象台数	機種・型式	改修対象台数
AR2504X	15,924台	RA255X-T	379台
AR2505X	23,477台	RA255X-W	11,567台
AR2804X（※）	14,421台	RA255X-WE	40台
AR2805X（※）	22,084台	RA284X（※）	29,645台

RA224X	34,438台	RA284XE (※)	124台
RA224XE	154台	RA285GX (※)	12,235台
RA225X	13,954台	RA285GXE (※)	10台
RA225XE	179台	RA285X-T (※)	368台
RA2541X	4,662台	RA285X-W (※)	11,717台
RA2542X	5,953台	RA285X-WE (※)	56台
RA2542XE	20台	RAZ255X	26,856台
RA254X	27,660台	RAZ255XE	84台
RA254XE	102台	RAZ285X (※)	27,667台
RA255GX	14,572台	RAZ285XE (※)	127台
RA255GXE	15台		
合 計			298,490台

対象製造期間：1994年1月～1996年8月

注：「※」が付いている機種は絶縁処理とコンデンサ部の交換を行い、付いていない機種は絶縁処理のみを行う。

2009年（平成21年）2月3日からリコールを実施
改修率 24.2%（2014年1月31日現在）

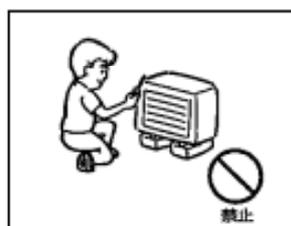
対象製品の外観（写真はRA285X-W）



対象製品の確認方法：右側面に機種・型式が表示されています。



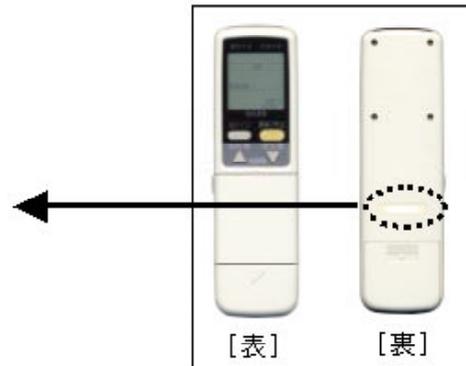
注 自分自身で、工具を用いて製品を分解等することは、危険ですので決してしないようにお願いします。



(参考1)

リモコンから確認する場合（リモコン型番と室外機の機種・型式は異なります。）

リモコン型番	
ARC401A5	室外機が対象機種となり対策が必要です。
ARC401A7	対象以外の室外機の可能性もあります。 室内機の機種・型式を御確認ください（下記参考2を参照）。
ARC402A1	
ARC407A1	
ARC408A2	※室内機での確認が困難な場合は、下記問合せ先までその旨お申し出ください。
ARC409A1	



注：写真のリモコンは、一例です。リモコンの型番によって形状は異なります。

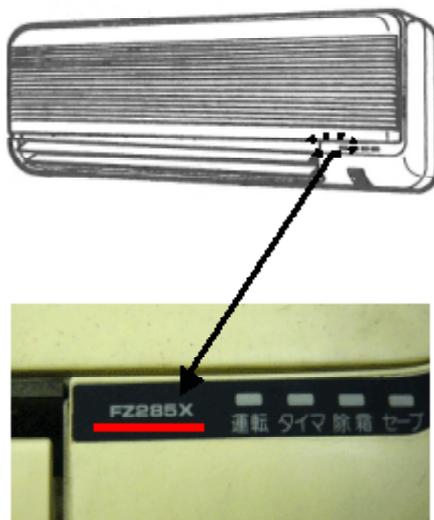
(参考2)

室内機から確認する場合（室内機は高所にあるため機種・型式を御確認いただく際は十分に御注意ください。）

- ・下記の室内機機種に対応する室外機が対象機種です。
なお、室内機は今回の無償点検・改修対象ではありません。

室内機の機種・型式
AN2504X、AN2505X、AN2804X、AN2805X、F224TX、F225TX、F2541TX、F2542TX、F254TX、F255TGX、F255TX、F284TX、F285TGX、F285TX、FZ255X、FZ285X

確認方法：右前面カバーに機種・型式が表示されています。
なお、この位置に機種・型式の表示がない場合は、対象機種ではありません。



注：上図の室内機は、一例です。室内機の型番によって形状は異なります。

④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う無償点検・改修又は部品交換を受けていない方は、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

【問合せ先】

ダイキン工業株式会社

電話番号：0120-330-696

受付時間：24時間受付

ウェブサイト：<http://www.daikin.co.jp/taisetsu/2009/090203/index.html>

(本発表資料の問合せ先) 消費者庁消費者安全課
(製品事故情報担当) 担当：大木、長井、清重
電話：03-3507-9204 (直通)
FAX：03-3507-9290

(凸版印刷株式会社が輸入し、株式会社ローソンが景品として配付したマグカップについての発表資料に関する問合せ先)
経済産業省商務流通保安グループ製品安全課製品事故対策室
担当：水野、長沼、山田 電話：03-3501-1707 (直通)
FAX：03-3501-2805

(ダイキン工業株式会社が製造したエアコン (室外機) についての発表資料に関する問合せ先)
経済産業省商務流通保安グループ製品安全課製品事故対策室
担当：水野、角田、中谷 電話：03-3501-1707 (直通)
FAX：03-3501-2805

1. ガス機器・石油機器に関する事故(製品起因か否かが特定できていない事故を含む)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生日都道府県	備考
A201300810	平成26年2月5日	平成26年2月24日	ガスこんろ(LPガス用)	RBR-350CD2-B	リンナイ株式会社	火災	当該製品に鍋を掛けて点火したところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。事故発生時の状況を含め、現在、原因を調査中。	茨城県	製造から20年以上経過した製品 2月14日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201300811	平成26年1月11日	平成26年2月24日	ガスこんろ(ガス種不明)	KBS-E551WI	リンナイ株式会社	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	福岡県	事業者が事故を認識したのは、2月20日
A201300812	平成26年1月27日	平成26年2月24日	石油温風暖房機	CFH-ES507	三洋電機株式会社	火災 軽傷1名	建物を全焼する火災が発生し、1名が火傷を負った。現場に当該製品があった。現在、原因を調査中。	香川県	製造から15年以上経過した製品 事業者が事故を認識したのは、2月14日
A201300813	平成26年2月18日	平成26年2月24日	石油給湯機	UJ-320 6	ネポン株式会社	火災	当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	広島県	製造から15年以上経過した製品 2月27日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201300816	平成26年2月12日	平成26年2月24日	石油給湯機	IB-422DS	株式会社長府製作所	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	徳島県	製造から10年以上経過した製品
A201300818	平成26年2月12日	平成26年2月25日	石油ストーブ(開放式)	SX-D27WY	株式会社コロナ	火災	当該製品を取り扱っていたところ、建物を全焼する火災が発生した。現在、原因を調査中。	岡山県	2月20日に消費者安全法の重大事故等として公表済

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生日都道府県	備考
A201300814	平成26年2月15日	平成26年2月24日	パワーコンディショナ(太陽光発電システム用)	JH-S303	シャープ株式会社	火災	当該製品から発煙し、当該製品の内部部品を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	茨城県	2月27日に消費者安全法の重大事故等として公表済

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故(続き)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生日都道府県	備考
A201300821	平成26年2月22日	平成26年2月25日	電気掃除機	EET530SO	エレクトロラックス・ ジャパン株式会社 (輸入事業者)	火災	当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	三重県	
A201300822	平成25年11月16日	平成26年2月25日	マグカップ	なし	凸版印刷株式会社 (株式会社ローソンプ ランド) (輸入事業者)	重傷1名	当該製品にお湯を入れたところ、当該製品の底部が抜け、右足に火傷を負った。事故原因は、現在、調査中であるが、熱湯を注ぐ等の原因で当該製品が劣化し、破損したものと考えられる。	神奈川県	平成25年12月2日からリコールを実施(特記事項を参照)回収率 16.3%事業者が事故を認識したのは、2月22日
A201300823	平成26年2月13日	平成26年2月25日	エアコン(室外機)	RA285X-T	ダイキン工業株式会社	火災	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。事故原因は、現在、調査中であるが、当該製品を含む対象機種の一部においてコンデンサの端子部分が組立時に外力を受けたため、長期の運転時の振動により緩み、接触不良を起こして出火に至ったものと考えられる。	大阪府	製造から15年以上経過した製品 平成21年2月3日からリコールを実施(特記事項を参照)改修率 24.2%
A201300824	平成26年2月13日	平成26年2月25日	延長コード	DHY8063-3(W) (東芝ライテック株式会社ブランド)	杉本電器株式会社 (東芝ライテック株式会社ブランド)	火災	ホテルのちゅう房で当該製品に電気製品を接続して使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	北海道	
A201300825	平成26年2月6日	平成26年2月25日	自転車	X-CALIBER 7	トレック・ジャパン株式会社 (輸入事業者)	重傷1名	当該製品に乗車中、当該製品が破損し、前輪が外れ、その際、転倒して負傷した。現在、原因を調査中。	東京都	

3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201300815	平成25年12月16日	平成26年2月24日	電気ストーブ(ハロゲンヒーター)	火災	当該製品を焼損する火災が発生した。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	埼玉県	事業者が事故を認識したのは、2月17日
A201300817	平成26年2月6日	平成26年2月25日	エアコン(室外機)	火災	店舗で当該製品を焼損する火災が発生した。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	東京都	製造から10年以上経過した製品
A201300819	平成25年12月23日	平成26年2月25日	リチウム電池内蔵充電器(スマートフォン用)	火災	当該製品に携帯電話機(スマートフォン)を接続して充電中、当該製品及び周辺が焼損する火災が発生した。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	神奈川県	事業者が事故を認識したのは、2月24日 1月30日に消費者安全法の重大事故等として公表済 2月4日に公表した携帯電話機に関する事故(A201300751)と同一
A201300820	平成26年2月13日	平成26年2月25日	電気ストーブ	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	山口県	
A201300826	平成26年2月3日	平成26年2月26日	電気ストーブ	火災	当該製品を使用中、当該製品の電源コード及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	兵庫県	

4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故調査判定合同会議において審議を予定している案件

該当案件無し

パワーコンディショナ（太陽光発電システム用）（管理番号：A201300814）



延長コード（管理番号：A201300824）



自転車（管理番号：A201300825）

